

株式会社ノリタケカンパニーリミテド

2024年3月期 決算説明会

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。

- 1. 2024年3月期 決算概要**
- 2. 2025年3月期 業績予想と重点施策**
- 3. 第12次中期経営計画の進捗**

- 1. 2024年3月期 決算概要**
2. 2025年3月期 業績予想と重点施策
3. 第12次中期経営計画の進捗

1. 2024年3月期 決算概要

連結損益計算書

減収増益 経常利益は過去最高を更新

売上高 1,379億円、営業利益 107億円、経常利益 146億円、当期純利益 115億円
(億円)

	2023年3月期			2024年3月期			対前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	678	717	1,395	676	704	1,379	△1.1%
営業利益	45	44	90	49	58	107	+19.4%
経常利益	66	58	124	70	77	146	+18.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	52	48	100	58	57	115	+14.5%

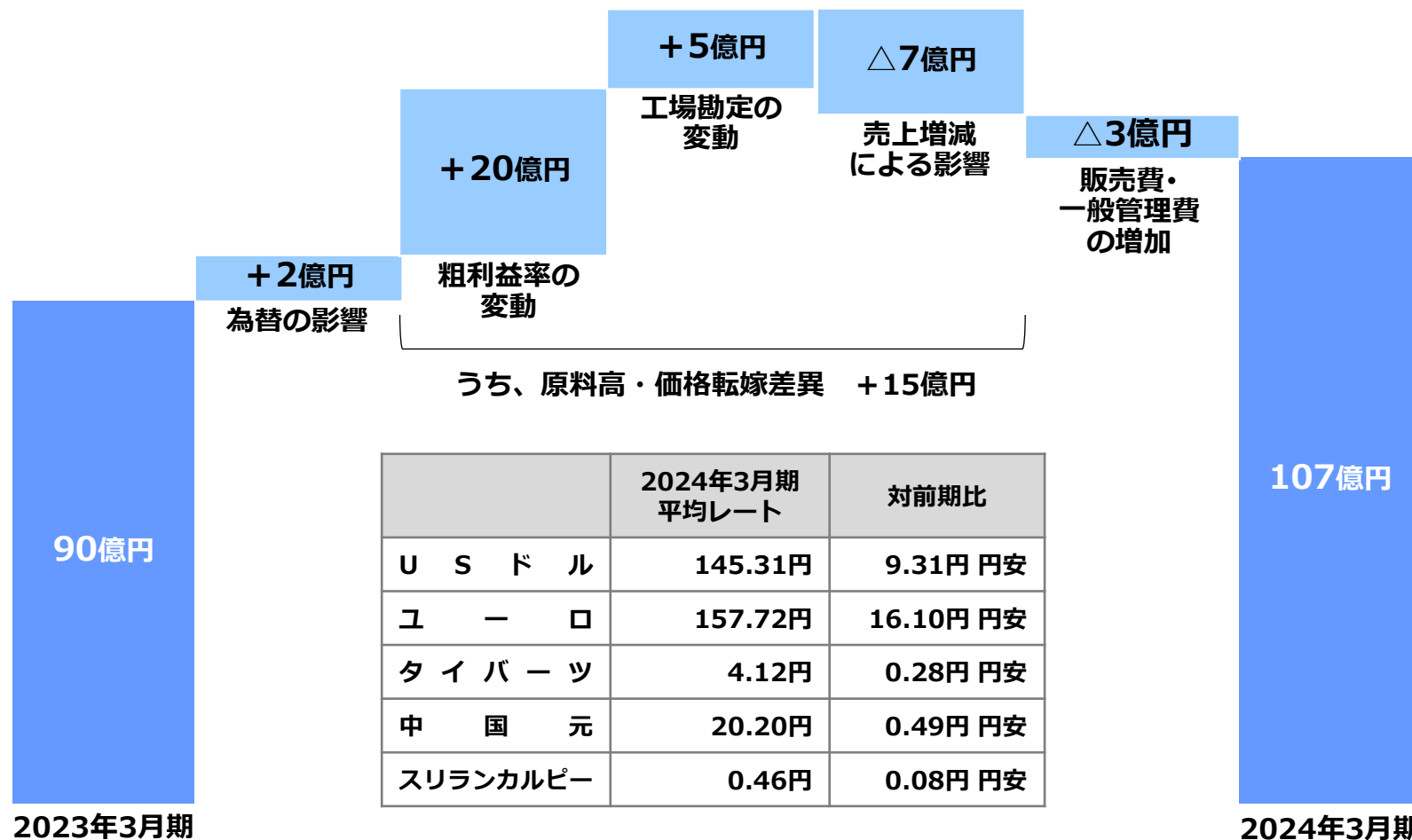
期末配当金 130円/株 (年間250円/株)

株式分割前を基準とした金額を記載しています。

1. 2024年3月期 決算概要

営業利益の変動要因

粗利益率の向上と工場勘定の変動等により、対前期比 17億円の増加



1. 2024年3月期 決算概要

経常利益の変動要因

営業利益の増加 + 17億円、営業外損益の増加 + 5億円により、対前期比 + 22億円

(億円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減
営業利益	90	107	+17
受取配当金	11	10	△0
受取賃貸料	5	5	+0
為替差益	1	3	+2
持分法による投資利益	16	18	+2
その他	2	3	+1
営業外損益	34	39	+5
経常利益	124	146	+22

1. 2024年3月期 決算概要

特別利益・特別損失

投資有価証券売却益 19.7億円

固定資産処分損 5.7億円、退職給付費用 5.1億円

(億円)

特別利益	
投資有価証券売却益 ※	19.7
固定資産売却益	0.8
合 計	20.5

特別損失	
固定資産処分損	5.7
減 損 損 失	1.3
投資有価証券評価損	0.9
退職給付費用	5.1
そ の 他	0.1
合 計	13.1

※ 政策保有株式の売却

1. 2024年3月期 決算概要

セグメント別 売上高・営業利益

工業機材及びセラミック・マテリアルで売上高は減収も、全セグメントで営業利益は良化

(億円)

		2023年 3月期	2024年 3月期	増減	対前期比
売上高	工業機材	575	557	△17	△3.0%
	セラミック・マテリアル	492	466	△26	△5.2%
	エンジニアリング	259	286	+27	+10.2%
	食器	69	70	+1	+0.9%
	計	1,395	1,379	△16	△1.1%
営業利益	工業機材	24	25	+1	+5.5%
	セラミック・マテリアル	48	62	+13	+27.6%
	エンジニアリング	21	22	+1	+7.0%
	食器	△3	△1	+1	—
	計	90	107	+17	+19.4%

1. 2024年3月期 決算概要

セグメント別 売上高

工業機材事業

商品別売上高

(億円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
研削砥石	178	176	△1
ダイヤモンド・CBN工具	119	115	△3
切断・オフセット砥石	172	169	△2
研磨布紙	68	57	△10
関連商品	39	39	△0
合計	575	557	△17

オーダーメイド品

国内

自動車業界は生産回復も、鉄鋼・ベアリング・電子部品業界の減産により前年並み

海外

北米は自動車向けが回復も、中国は産業機械向けが減少、東南アジアも自動車減産の影響により、全体で減少



研磨布紙

国内・海外ともに低調



1. 2024年3月期 決算概要

セグメント別 売上高

セラミック・マテリアル事業

商品別売上高

(億円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
電子ペースト	89	94	+5
電子部品材料	127	164	+37
セラミック原料	181	104	△77
セラミックス	95	104	+9
合計	492	466	△26

電子ペースト・電子部品材料
積層セラミックコンデンサ用材料において、自動車向けが堅調、通信機器用の在庫調整が進展し、需要が一部で回復



セラミック原料
耐熱ガラス用が大きく減少



1. 2024年3月期 決算概要

セグメント別 売上高

エンジニアリング事業

商品別売上高

(億円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
焼成炉・乾燥炉	193	218	+25
攪拌装置	13	18	+5
濾過装置	13	12	△0
超硬丸鋸切断機	11	10	△1
ロードカッター等	30	27	△3
合計	259	286	+27



焼成炉・乾燥炉
リチウムイオン電池用
が堅調

攪拌装置
主要分野の化学
向けが好調



ロードカッター
公共工事が低調

1. 2024年3月期 決算概要

セグメント別 売上高

食器事業

商品別売上高

(億円)

		2023年 3月期	2024年 3月期	増減
	国内	30	31	+0
	米州	15	16	+1
	欧州・アジア	24	23	△1
合	計	69	70	+1



国内

オンライン販売が減少、直営店・ホテル向けが増加



米州

百貨店向けが回復し、オンライン販売も堅調



欧州・アジア

中国向けは苦戦、アジア諸国向けは堅調

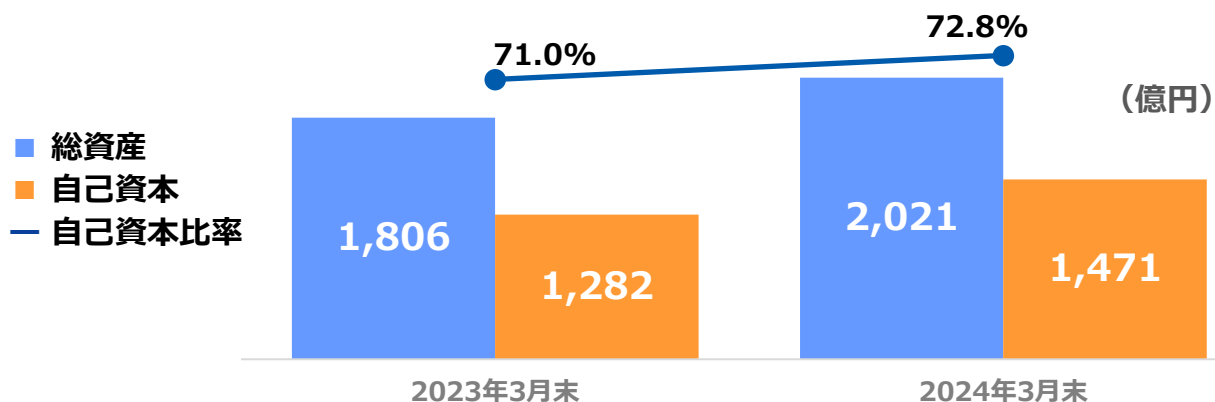
1. 2024年3月期 決算概要

連結貸借対照表

総資産・自己資本はともに増加、自己資本比率も上昇

	2023年 3月末	2024年 3月末	(億円) 対前期末比
総資産	1,806	2,021	+215
自己資本	1,282	1,471	+189
1株当たり純資産	4,441円	5,074円	+634円
自己資本比率	71.0%	72.8%	+1.8%

2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。



1. 2024年3月期 決算概要

キャッシュ・フロー計算書

フリーキャッシュフローは 188億円
現金及び現金同等物残高は 180億円、対前期比 +60億円

(億円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
営業活動によるCF	△2	220	+223
投資活動によるCF	△35	△32	+3
フリーキャッシュフロー	△37	188	+225
財務活動によるCF	33	△135	△168
現金及び現金同等物残高	120	180	+60

1. 2024年3月期 決算概要

Noritake

有利子負債

(億円)

	2023年 3月末	2024年 3月末	増減
有利子負債※	125	26	△98
現金預金	146	213	+67
ネット有利子負債	△22	△187	△166

※有利子負債にリース債務を含めず

設備投資、減価償却費

(億円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
設備投資	61	54	△7
減価償却費	48	48	+0

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想と重点施策
3. 第12次中期経営計画の進捗

2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

2025年3月期 業績予想

売上高 1,410億円、営業利益 110億円、経常利益 145億円、当期純利益 120億円

(億円)

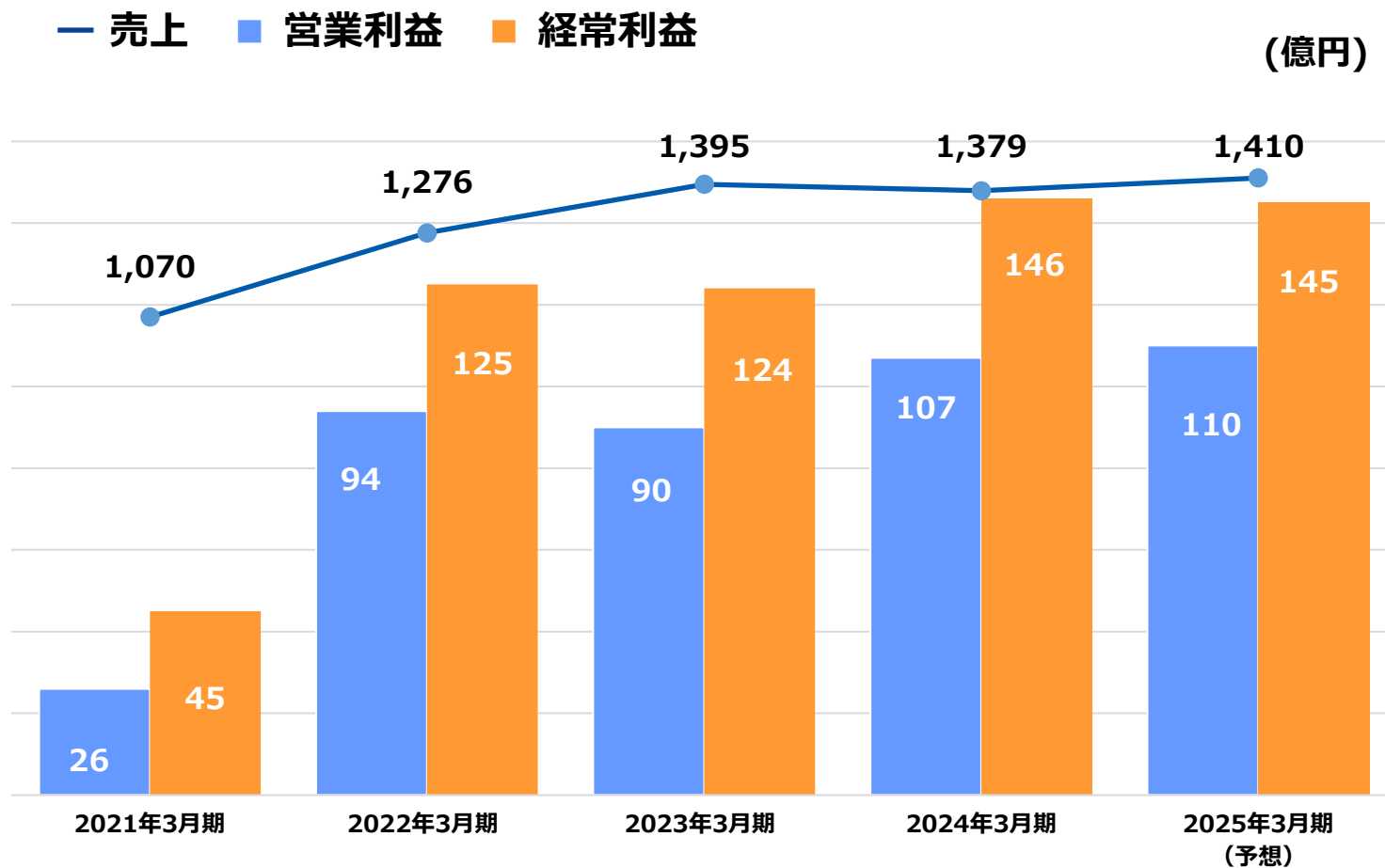
	2024年3月期			2025年3月期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減
売上高	676	704	1,379	695	715	1,410	+31
営業利益	49	58	107	50	60	110	+3
経常利益	70	77	146	67	78	145	△1
親会社株主に帰属する 当期純利益	58	57	115	58	62	120	+5

U S \$ 為 替	145.3円	145.0円	△0.3円
------------	--------	--------	-------

2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

2025年3月期 業績予想

売上高は過去最高、営業利益・経常利益は前期と同水準を予想



2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

セグメント別業績予想

(億円)

		2024年 3月期			2025年 3月期予想			増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	工業機材	279	279	557	290	295	585	+11	+16	+28
	セラミック・マテリアル	240	226	466	225	230	455	△15	+4	△11
	エンジニアリング	121	164	286	145	155	300	+24	△9	+14
	食器	35	35	70	35	35	70	+0	+0	+0
	計	676	704	1,379	695	715	1,410	+19	+11	+31
営業利益	工業機材	10	15	25	10	13	23	+0	△2	△2
	セラミック・マテリアル	32	30	62	31	34	65	△1	+4	+3
	エンジニアリング	7	14	22	10	12	22	+3	△2	+0
	食器	△0	△1	△1	△1	1	0	△1	+2	+2
	計	49	58	107	50	60	110	+1	+2	+3

2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

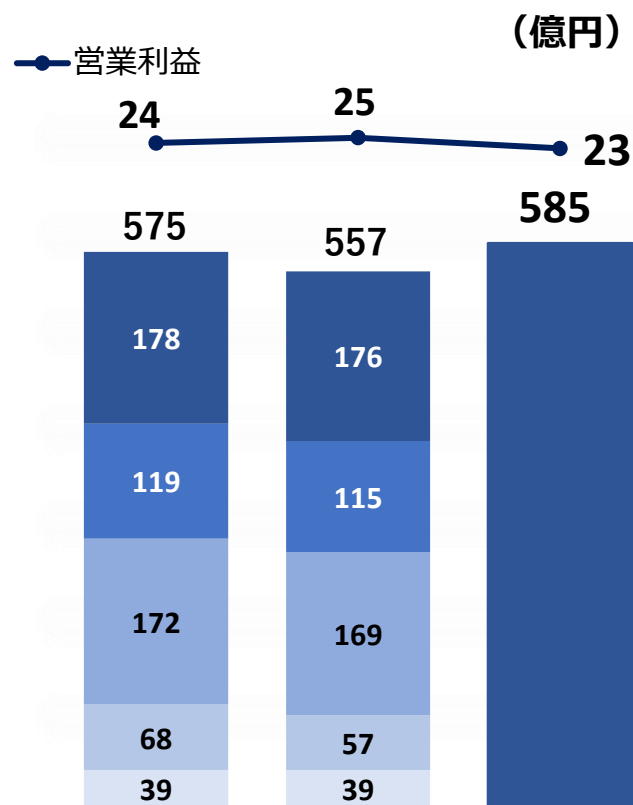
工業機材事業

自動車業界は堅調に推移も、中国の回復に遅れ

売上高 585億円 (28億円増収)
 営業利益 23億円 (2億円減益)

研削砥石	
ダイヤモンド・CBN工具	
切断・オフセット砥石	
研磨布紙	
関連商品	

商品別売上高・営業利益



2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期

© 2024 NORITAKE CO., LIMITED All Rights Reserved.

2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

工業機材事業

既存事業の収益改善と成長領域への進出に向けた体制構築

事業をオーダーメイド品と汎用品に再編し、効率的な事業体制を構築



複層歯車研削砥石



LHAパッド



研磨布紙

オーダーメイド品事業

- ・成長領域向け製品の増産体制の確立、徹底した収支改善、販売拠点の整備等による収益基盤の強化
- ・半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発

汎用品事業

- ・研磨布紙におけるタイ国関連会社の100%子会社化による製造・販売体制の再編、収益力の改善・強化
- ・成長領域への進出に向けた製造・開発・営業体制の構築、経営資源の最適化

2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

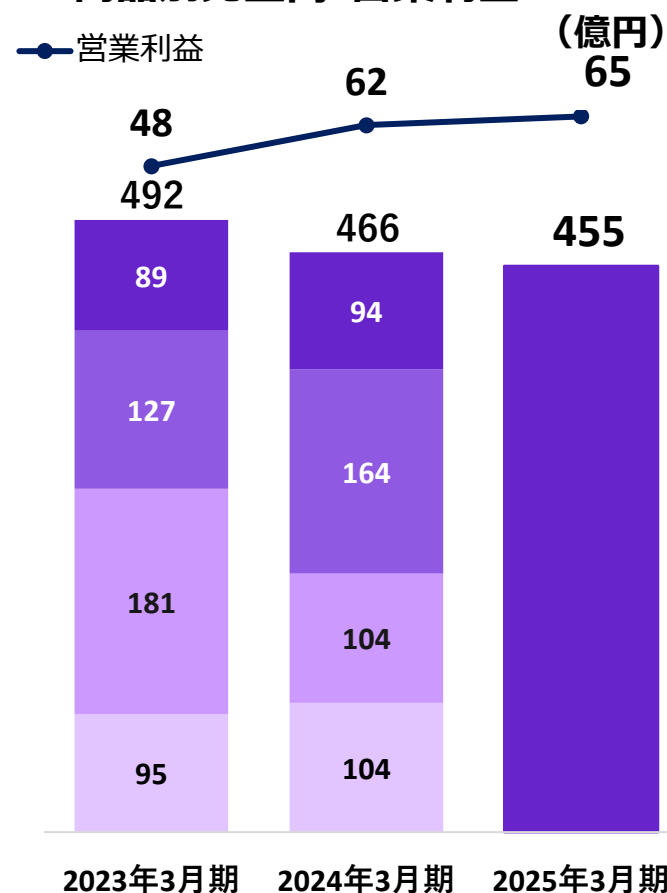
セラミック・マテリアル事業

セラミック原料が減少も、積層セラミックコンデンサ向けが増加

売上高 455億円 (11億円減収)
営業利益 65億円 (3億円増益)

電子ペースト	
電子部品材料	
セラミック原料	
セラミックス	 <p>石膏 厚膜回路基板 セラミックコア 蛍光表示管</p>

商品別売上高・営業利益



2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

セラミック・マテリアル事業

積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強、事業ポートフォリオの再構築

電子ペースト

エレクトロニクス分野における製品ラインナップの拡張と新商品の開発



電子ペースト

電子部品材料

積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強、成長領域における新商品の開発、原材料費・物流費上昇に応じた適正な価格改定による収益性の向上



電子部品材料

セラミックス

事業の選択と集中、新商品・新事業の創出による事業ポートフォリオの再構築



石膏



厚膜回路基板



セラミックコア






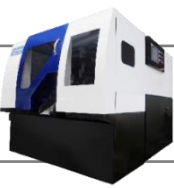

蛍光表示管

2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

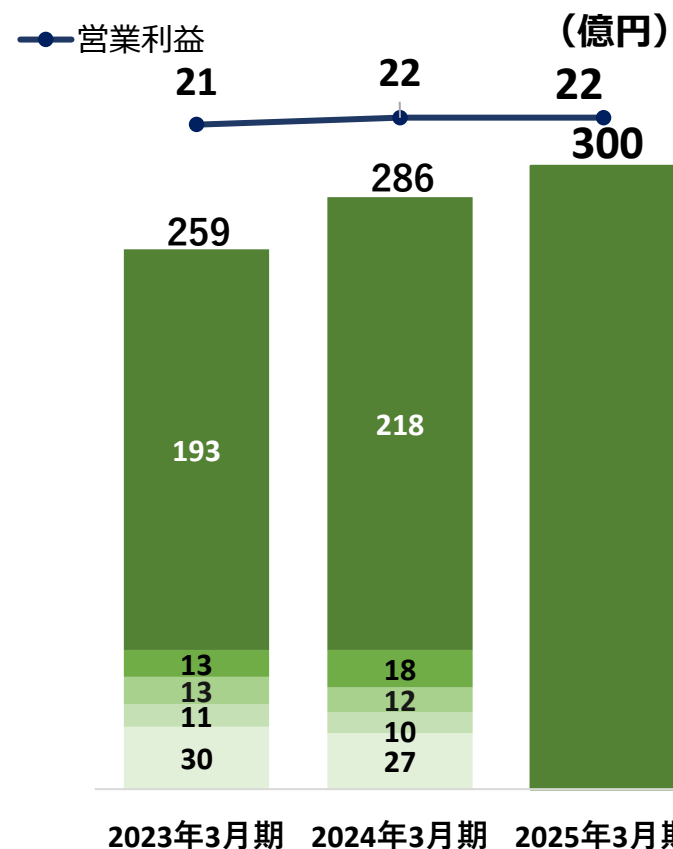
エンジニアリング事業

主力のリチウムイオン電池用焼成炉・乾燥炉が堅調に推移

売上高 300億円 (14億円増収)
営業利益 22億円 (0億円増益)

焼成炉・乾燥炉	
攪拌装置	
濾過装置	
超硬丸鋸切断機	
ロードカッター等	

商品別売上高・営業利益



2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

エンジニアリング事業

成長領域への注力と新商品開発、新分野の開拓

エネルギー・エレクトロニクス分野

拡販とアフターサービス体制の強化、
新商品投入によるシェア拡大

自動車分野

電動化に伴う新用途・新商品の開発

新分野

新分野(医療・医薬、半導体、新素材)への
参入と市場開拓

環境分野

新用途・新商品の開発強化



水素燃焼式リチウムイオン電池極材用連続焼成炉
(C-SERT-RHK-Nero)



ファインバブル
(微細気泡)発生器



クーラント濾過装置



小型スタティックミキサー



スラッジ固形化装置
スマートブリケッター



乾式ロードカッター

2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

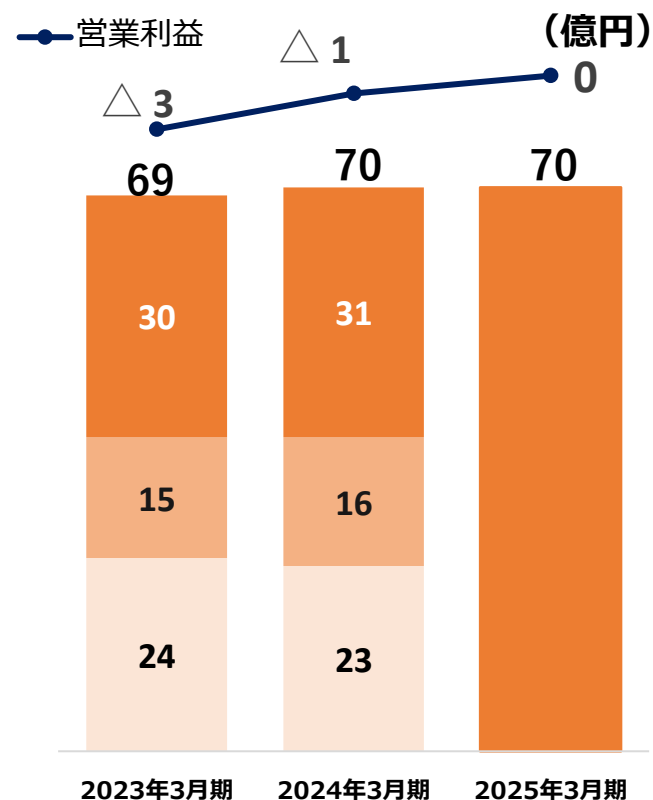
食器事業

売上高はほぼ横ばいも、収支均衡へ

売上高 70億円 (0億円増収)
 営業利益 0億円 (2億円増益)

	国内	
	米州	
	欧州 アジア	

商品別売上高・営業利益



2. 2025年3月期 業績予想と重点施策

食器事業

黒字化に向けて収支改善を継続

国内

流通経路の再整備による経費削減
営業体制の見直し、マーケティング強化
ホテル・レストラン向け、オンライン及び
直営店の販売に注力



米州・欧州・アジア

成長市場であるインド、中国、
東南アジア等の主要国での拡販
米国の収支改善

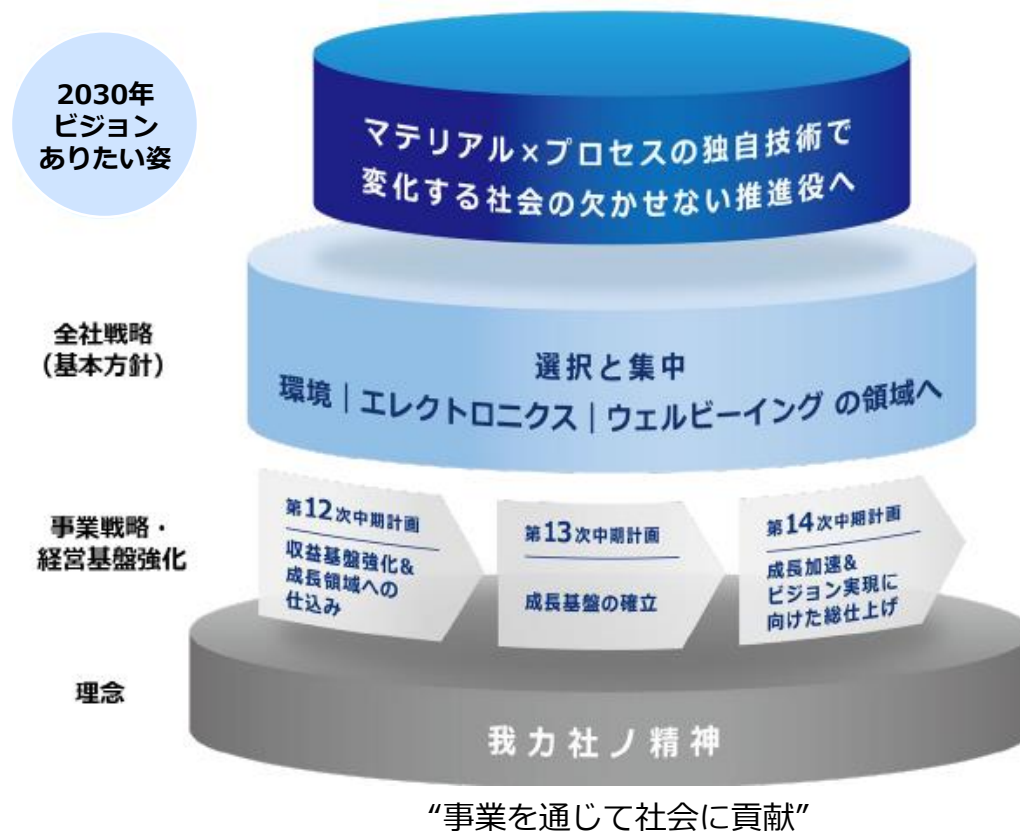


1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想と重点施策
3. **第12次中期経営計画の進捗**

3. 第12次中期経営計画の進捗

<第12次中期経営計画の概要>

長期ビジョン(ありたい姿)



「地球を元気に」「社会を便利に」「人と社会を幸福に」する企業を目指す

3. 第12次中期経営計画の進捗

<第12次中期経営計画の概要>

中期経営計画の位置付け (2024年3月期～2025年3月期)

「収益基盤の強化と成長領域への仕込み」の期間

【注力する5項目】

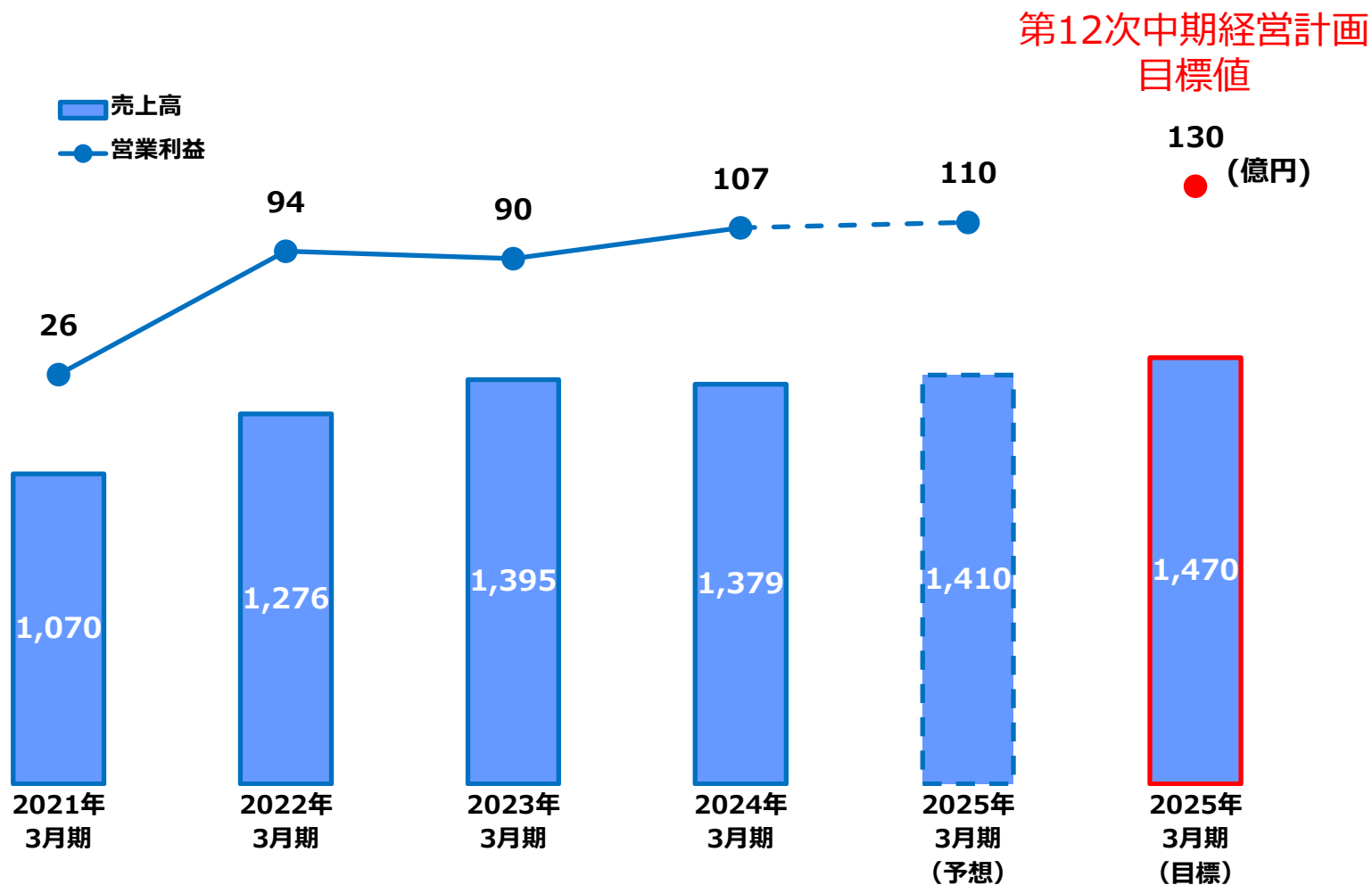
- 不採算商品・事業の再編 ● 収益改善・合理化の推進 ● 増産／拡販対応
- 新規事業の仕込み ● 経営基盤強化

経 営 目 標	2025年3月期
売 上 高	1,470 億円
営 業 利 益	130 億円
営 業 利 益 率	9 %
自 己 資 本 利 益 率 (R O E)	9 %
フ リ ー キ ャ ッ シ ュ フ ロ ー (F C F)	200 億円 (3年間累計)

3. 第12次中期経営計画の進捗

<第12次中期経営計画の進捗状況>

2025年3月期の業績予想は、売上高1,410億円、営業利益110億円



3. 第12次中期経営計画の進捗

＜第12次中期経営計画の進捗状況＞

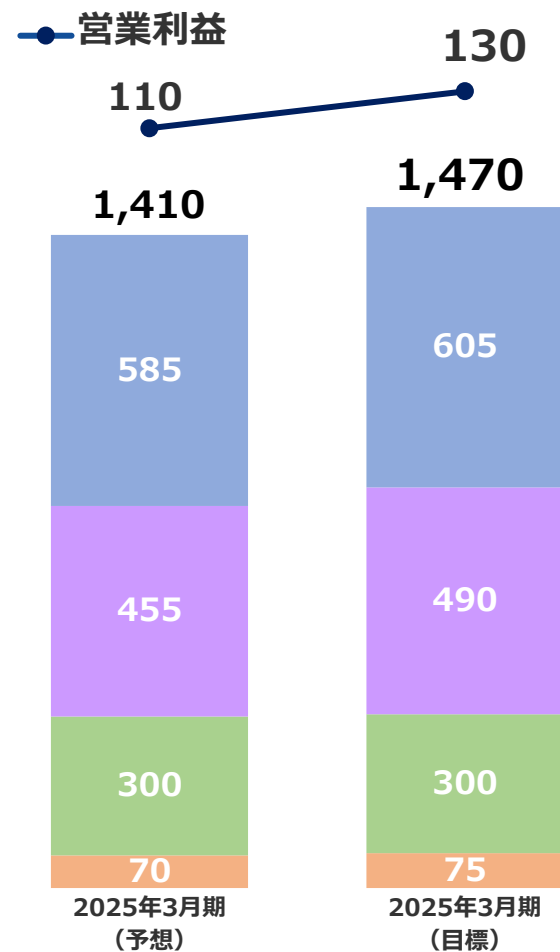
セグメント別売上高・営業利益目標

(億円)

		2025年 3月期 (予想)	2025年 3月期 (目標)	差
売上高	工業機材	585	605	△20
	セラミック・ マテリアル	455	490	△35
	エンジニアリング	300	300	—
	食器	70	75	△5
	計	1,410	1,470	△60
営業利益	工業機材	23	30	△7
	セラミック・ マテリアル	65	73	△8
	エンジニアリング	22	27	△5
	食器	0	0	—
	計	110	130	△20

売上高・営業利益

(億円)



3. 第12次中期経営計画の進捗

成長領域(環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング) への投資と利益獲得の好循環を目指して

ノリタケは長期ビジョン「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役へ」を達成するために、2030年に向けた成長領域への投資と利益獲得の好循環を目指します。「環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング」の3分野を成長領域として定めて「選択と集中」を進め、現状の基盤領域(内燃機関、窯業など)から、事業領域の転換を進めています。現在、成長領域で活躍している製品や取り組みをご紹介します。

環境関連
複層歯車研削砥石
電気自動車などで使用される歯車に求められる静粛性の向上やエネルギーの伝達ロスを小さくすることが可能な砥石です。



資源循環・フードロス削減の取り組み

加熱殺菌装置
規格外品の青果をビューレに生まれ変わらせるための加熱殺菌装置を提供し、フードロス削減に貢献しています。

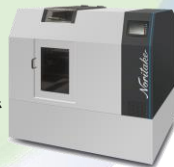


リチウムイオン電池用焼成炉
自動車のEV化に伴い、リチウムイオン電池分野でノリタケの焼成炉が活躍しています。



環境

スマートブリケッター
金属の加工で発生したスラッジ※を圧縮して固形化(ブリケット化)し、研削液を回収する装置です。ブリケットは再資源化、研削液は濾過することで再利用が可能になります。
※スラッジ：金属くずと研削液を含む泥状のもの

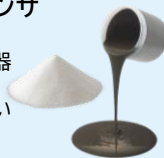


3分野への
選択と集中

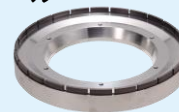
エレクトロニクス

電子・半導体

積層セラミックコンデンサ(MLCC)用材料
通信機器、自動車、産業機器などで半導体市場の拡大が見込まれており、それに伴いMLCCの需要が拡大します。

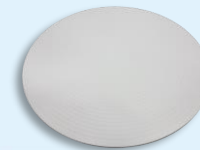


ウエハー平面研削ホイール
シリコンやSiCなどのウエハーの厚みを調整する平面研削に使用されるホイールです。



LHAパッド

パワー半導体ウエハーを研磨する砥粒内包型研磨工具「LHAパッド」です。研磨剤スラリーを使用しないため、産業廃棄物削減にも寄与します。



ウェルビーイング

注射針用砥石
注射針の針先を研磨する砥石です。バリの少ない仕上がりが評価されています。



ライフサイエンス

クレマンス
料理を五感で楽しむために形状にこだわった食器を、主にホテル・レストラン向けに開発しました。



セラポール
多孔質セラミックスを応用した微細孔方式のファインバブル発生器です。医薬・化粧品への用途開拓を展開しています。



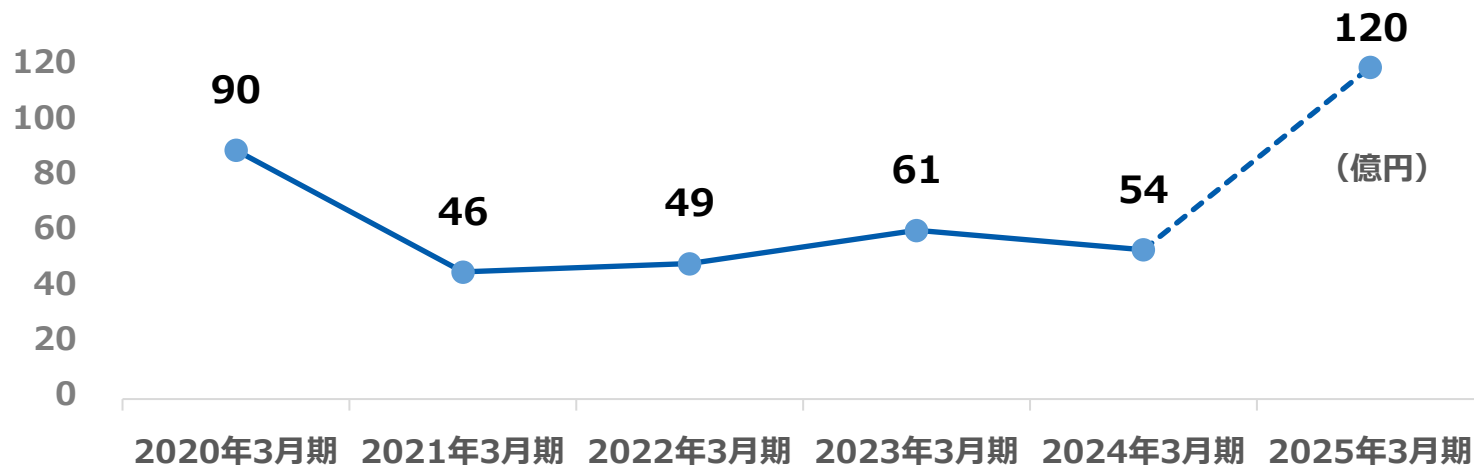
3. 第12次中期経営計画の進捗

<設備投資>

「環境、エレクトロニクス、ウェルビーイング」の成長領域へ積極投資

(億円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (計画)
設備投資	90	46	49	61	54	120



3. 第12次中期経営計画の進捗

<配当方針の変更>

変更前	変更後
<p>当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針として位置付け、長期にわたる安定的な配当を継続することを基本とし、業績・財務体質、今後の事業展開等を総合的に判断して成果の分配を行うこととしております。</p>	<p>当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営方針として位置付けております。 長期にわたる安定的な配当の継続と通期の連結配当性向30%以上を配当政策の基本方針とし、財務状況や今後の事業展開などを総合的に勘案しながら業績に連動した利益還元を目指します。</p>

3. 第12次中期経営計画の進捗

<株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更>

2024年3月31日(日)を基準日として、1株につき2株の割合をもって分割

分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,842,849株
今回の分割により増加する株式数	14,842,849株
株式分割後の発行済株式総数	29,685,698株
株式分割後の発行可能株式総数	79,500,000株

分割の日程

基準日公告日	2024年3月14日(木)
基準日	2024年3月31日(日)
効力発生日	2024年4月1日(月)

発行可能株式総数

現行	39,750,000株
変更後	79,500,000株

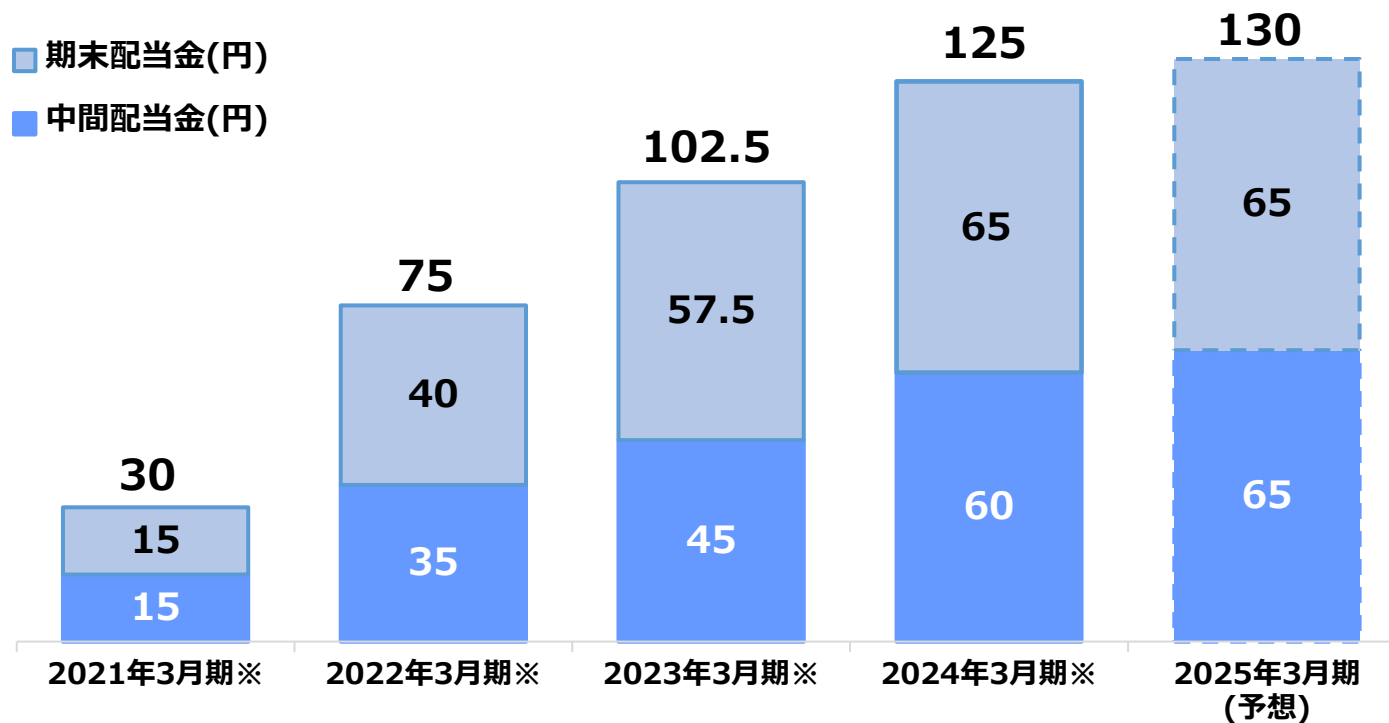
3. 第12次中期経営計画の進捗

<配当金>

来期配当予想は年間130円

中間配当金 65円/株、期末配当金 65円/株を予定

※2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2021年3月期～2024年3月期の配当金についても、比較の便宜上分割後を基準とした数値を記載しております。



3. 第12次中期経営計画の進捗

<資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応>

現状認識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社の株主資本コストは、約7%~9%と認識 ・ ROEは、改善傾向にあるものの、株主資本コストを下回るまたは同水準 ・ PBRは、2024年3月期に大幅改善も1倍を下回る状態が続いており、早期に改善が必要
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年3月期のROE9%を目標に掲げ、株主資本コストを上回る収益の創出を目指す
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業別ROICの導入と資本収益性を高める施策の推進 ・ 「選択と集中」の推進と成長領域への注力 ・ 事業ポートフォリオの見直しによる経営資源の適切な分配 ・ 政策保有株式の縮減など資本効率の向上 ・ IR活動の基盤強化、英文開示を含む情報開示の拡充 ・ 配当方針の変更 (安定配当の継続、連結配当性向30%以上)

